

# 事業計画書概要版

## 1 市民の平等な利用が確保されること。

### (1) 管理運営方針等

- 個々の立場に立った生活習慣とプライバシーを考慮し「自宅になりえる場所」を提供し、地域との絆・人生の連続性を断ち切ることなく安心した暮らしを提供する。
- 地域の方々の幸せを追求するため、公正中立で適切な法人運営を行なう。地域づくりは人づくりを基本と考え、「地域のニーズを把握でき、自分の力を発揮できる職員」を継続して育て、現場第一主義を念頭に地域を見据えた運営を行なっていく。
- 都城環境基本計画を基本とした環境への配慮は責務として取り組む。

### (2) 平等利用

- 施設に係る相談や苦情には、ホテルマリックスの全面協力を受けた接遇研修を行い、技術・心を習得した職員が対応する。話しやすい雰囲気づくりのため環境を整備する。第三者委員による苦情対応を行う。

## 2 事業計画の内容が施設の効用を最大限に発揮するものであること。

### (1) サービス・利便性の維持向上

- 職員に合わせるのではなく、入居者の要望や困り感には全職員で対応する。
- 地域の公民館と協力し、地域行事への参加、自主的な施設行事の運営と生きがいづくりを図る。
- 定期健診実施、感染対策委員会による感染症対策以外にも、農作業、鑑賞、お茶会等の外出機会を増やし、心身ともに抵抗力を養う。
- 「自宅となりえる場所」の実現のため、入所者が自己選択・決定できる環境は人間の権利と考えて可能な限り、食事・入浴・睡眠・移動等ができる体制を実現している。職員の入居者との生活の共有・共感や、訪問看護ステーションと連携した看取り体制を整える。
- 骨伝導式インカムによる入居者の自由を妨げない見守り体制や、緊急システム連絡網アプリの導入による安全システムの構築を図る。
- 少人数で個別に対応できる家庭的な空間づくりを行なうため、セントラルキッチンから自前調理に切り替え、柔軟な食事提供体制を整える。
- 自治会を組織し、月一回の常会、自主的な環境美化、フラワーアレンジメント教室、農業販売プロジェクト等を企画。
- リモートによる面会、家族限定のYouTubeによる配信等で面会を促進する。

## 3 経済的な管理運営が図られ、経費配分が適正であること。

### (1) 経費配分

- 会計・労務ソフト導入により、本部と連動し事務の効率化を図る。介護ソフト導入により、支援員の業務軽減及び残業の縮減を図る。法人内で独立採算制

を取り入れており、職員一人ひとりの経営感覚が必要となるため業務効率化の意識を高めている。能力やがんばりに応じた公平中立な人事考課制度の導入。業者選定は3社以上の見積もりを行う。

○ 技術を要する部分は専門業者に委託し、軽微な作業は障がい者作業所を活用。

4 事業計画に沿った管理を安定的に行う物的能力及び人的能力を有していること。

(1) 物的能力

○ 法人としては、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービス、グループホーム等、複数の高齢者サービス施設を有しており、養護老人ホーム2施設「霧峰園」「友愛園」の指定管理者でもある。また、認定こども園等の運営も行なっている。

(2) 人的能力

○ 人員体制、配置基準を満たし上質なサービスを提供できる職員を配置。法人本部はバックアップサポートを行い、施設長を中心とし、事業所に裁量権を限りなく持たせた運営体制である。

○ 職員には担当指導者を配置し、指導育成カリキュラムのもと育成する。法人内のマニュアルハンドブック「ハウスルール」による接遇の指導を行う。

○ 広報誌等を通じた情報公開を行い、労働法令を遵守した働きやすい職場環境整備に努めている。

5 地域に貢献する取り組みに関すること。

○ 地元の公民館に加入し地域の活動に参加。薄谷地域に無料買い物バスを運行。地域コミュニティカフェ、地域住民とのビアガーデン、地域コンサート等を実施。地域の役員会の場所を提供。

6 その他公の施設を管理するにあたり必要な基準に関すること。

○ 人員基準を満たし、専門性と経験を踏まえた職員を配置。新年度・中途の採用計画も順調に推移。